

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
蔵のまち周辺地区

平成23年 2月

愛知県半田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来街者数	人/日	18,733	20,000	21,016	確定 見込み		○	あり なし	20,216	H22年 6月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市基盤や都市拠点の形成が図られたことが乗降客の増加につながった。	
指標2	商業店舗数	店舗	235	235	251	確定 見込み		○	あり なし	254	H22年11月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市拠点機能が強化されたことが商業店舗の増加につながった。	
指標3	昨の里・酒の文化館の来場者数	人/年	118,000	118,000	136,875	確定 見込み		○	あり なし	134,844	H22年 6月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	歩行空間の充実やPR促進が来場者減少の歯止めにつながった。	
指標4	住民満足度アンケート調査	%	66.4	70.0	80.1	確定 見込み		○	あり なし	68.7	H 22年 4月		アンケートの主旨が対象者に伝わりにくかった。 ☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	目標値を下回ったが、満足度の向上という目標は達したと考えられる。	
指標5						確定 見込み			あり なし		H 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み	理由				改善策の方向性		
その他の数値指標1	観光案内所来場者数	人/年	20,609		24,370	確定 見込み	●			29,483	H22年 6月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	快適な歩行空間の形成や定期イベントの実施が来街者の増加につながった。
その他の数値指標2						確定 見込み					H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み					H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	広域交流拠点の機能拡充	関係団体によるイベント・コンベンション開催のためのネットワー クづくりや、誘致するための広報活動などを行った。	広報活動等により地元企業に施設等の紹介やガ イドラインの周知、相談窓口の利用促進が図られ た。	市内施設や地域資源、催事業と連携し新たな誘客効果が図ら れる仕組みづくりが必要になる。
	駅を中心とした歩行空間の充実	名鉄知多半田駅からJR半田駅にかけて、中心市街地における にぎわい事業により街路灯整備や壁面修景、鉢植え花陳列な どによって沿道美化を図った。	駅周辺道路の安全性向上および修景整備、花 いっぱい事業などの環境美化により、歩行者空間 の充実が図られた。	今後も商店街を中心とした地元団体と協力関係の継続・強化に 努めていく必要がある。
	市民と観光客との交流機会の継続	地元商店街によるイベントや市民グループによるフリーマーケッ トなどが開催された。	イベント開催などで定期的に集客できるようになっ た。	今後も商店街を中心とした地元団体に対して誘客支援を行う必 要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	JR半田駅周辺の市街地環境改善	JR半田駅周辺における中心市街地の活性化を図るため、鉄道 高架を含めた一体的な整備を推進するのに、関係機関との協 議や地元住民とのまちづくりに関する勉強会の開催に努めた。	関係機関や地元との協議により、鉄道高架を含め たまちづくりの方向性や、地元住民参加による勉強 会などでまちづくりに対する機運が高まってき た。	継続して関係機関と協議を進めるとともに、地元住民と協働して まちづくりを進め、早期に事業の着手から完了までを目指してい く。
	市民と観光客との交流の場の創出	半田運河周辺を訪れる人たちが、まち歩きを楽しめるように、蔵 などの歴史的資源を活かした景観道路整備に着手した。	半田運河周辺の魅力づくりに対する機運が高ま り、周辺の清掃活動等を行う市民団体の立ち上げ や、来訪者の回遊性の向上をさらに高めるため整 備区域を拡大する計画につながった。	引き続き景観に配慮した半田運河周辺の道路整備を行い、来訪 者の回遊性の向上を図るとともに、人々が集いイベント等が開催 できる観光拠点として広場整備を行う。
	商店街の再生 低未利用地の活用促進	中心市街地内にある商店街の空き地・空き店舗を活用する事 業者への補助制度を創設した。	中心市街地内にある商店街の空き店舗が徐々に 活用されるようになった。	補助制度の周知や、更なる空き地・空き店舗の活用促進が図ら れる仕組みづくりに努める。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
半田運河周辺等における回遊性の向上	半田運河周辺のまち歩きを楽しむ人や「酢の里」「酒の文化館」等の観光施設、公共 ホールを訪れる人の利便性向上のため、駐車場整備を行う。	H23	駐車場に周辺施設を紹介する観光案内板の設置が必要である。